



2021年10月  
第76号

☎ 111-0052  
東京都台東区柳橋2-22-3  
ウェスレアン・ホーリネス  
神学院  
☎ 03-3851-3762  
FAX 03-3851-3858  
振替口座番号  
00130-4-364534  
名義 ウェスレアン・ホーリネス神学院  
発行人 山崎 忍  
編集人 文カンホ、後藤貴子  
印刷所 ヨ ベル

人からではなく、神によって

神学院教授 桑原信子



### 1・祈る者

毎年、学生が神学院での学びを終えて、伝道者として遣わされて行くのを厳かな思いで送ります。それは伝道者パウロが「人々からでもなく、人を通してでもなく、イエス・キリストと、キリストを死者の中から復活させた父である神とによって使徒とされたパウロ」(ガラテヤ1:1)と言うように、主イエスによって伝道者とされた方々だからです。

「イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた」(ルカ6:12) 主イエスは、度々、祈られました。十字架にお掛りになる前には、ひれ伏して祈られました。「父よ、御心なら、この杯を私から取りのけてください。しかし、わたしの願いはなく、御心のままに行ってください」(ルカ22:41、42)

祈りは、父なる神と出会い、深い交わりの中で赤裸々な自分自身を見つめ、生きざまを問ひ、間違いの無い方向を示され、御言葉によって導かれ、御心に従う者となる時です。さらに、祈りは、これから始まる働きへの備え、出会って接する多くの人々への心構え、福音宣教への備えです。祈りは、自分の無力さを示され、「助けてください、教えてください」と祈り求める事から始まります。

伝道は神の働きです。神の働きは聖霊の働きです。祈りによって、聖霊は豊かに働き、祈る者の霊的感性を鋭くし、御言葉が神の導きであり、神が働いておられることをキャッチさせます。御言葉を信じて従い、御言葉を行う力が与えられます。御言葉を力強く、確信をもって伝える事ができます。祈りこそ神の働きをする力の源です。

### 2・御言葉に聴く者

主イエスは、荒野で神の声を聴

かれ、神の声に従われました。

「朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた」(マルコ11:35) 「人里離れた所」これは荒野とも訳されます。荒野、一人だけの孤独の世界、そこで人の孤独を負ってくださった主イエスの十字架の愛を知り、愛の中で、神と向き合い、御言葉に聞きます。神の愛、恵みが迫り、魂が養われます。御言葉への確信が与えられ、御言葉に従い、生きて行くことが出来ます。

伝道者は、御言葉を伝えます。御言葉を良く読み、学び、御心を知らなくてはなりません。御言葉から与えられるメッセージを的確に受け取り、メッセージを伝えます。メッセージ、それは感動です。「ああ、わかりました。神は素晴らしい」と聖書を学んでいると、思わず口から感動の言葉が出てくるのではないのでしょうか。これが大切です。メッセージで示された神の愛、約束、導き、教え、喜び、励ましを、感動をもって伝えます。この感動に押し出されて語るメッセージが人々の心に届

き、訴え、御言葉が神の言葉であると、信じる事ができるのです。

### 3・仕える者

伝道者は主イエスが為されたように仕える者です。主イエスは「人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように」(マタイ20:28)と言われ、最後の晩餐のとき、弟子たちの足を洗い、仕える事を身を持って示され「主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならぬ。」(ヨハネ13:14)と言われました。「足を洗う」それは罪を洗い流す十字架の愛を示します。主イエスが神であるのに、人と成り、罪人の立場に立ち、十字架で贖ってくださった愛です。この愛に満たされて、「互いに足を洗い合う」のです。相手の立場に立ち、相手の考えに心を寄せます。遜って相手の言う事を良く聞き、そして御言葉に聴き、御言葉に従って、共に歩みます。教え、導くという上から目線ではな

く、自分も御言葉に導かれる者、共に歩む者という目線です。仕える者は共に歩んで、共に生かされて行きます。

### 4・喜ぶ者

主イエスが誕生された時、天使は告げました。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる」(ルカ2:10)主イエスは喜びです。主イエスは言われました「わたしの喜びがあなたがたの内にあり」(ヨハネ15:11)「悲しみは喜びに変わる」(ヨハネ16:20)「その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない」(ヨハネ16:22) 伝道者は、主イエスから喜びを与えられ、神の御用をする者とされたことを喜んでゐる者です。人々は喜んでゐる伝道者を見て、その喜びを与えてゐる神を信じたいと思うでしょう。

神学院で学ぶ学生が、主イエスに倣う伝道者に育てられるように、お祈りをお願いいたします。

## ◆神学院夏期派遣報告◆

### 夏期派遣報告

4年 船津悠大

今年度の夏期派遣は、インターネットでの配信を中心に行われました。直接会って礼拝をすることに勝る恵はありませんが、ネットを通しての交わりの可能性、良い面も発見できました。

神は生きて働いておられます。今年度の派遣は、今のメンバーでなければできない内容でした。ネットを駆使し、賛美や証やメッセージを届ける。コロナ禍で、ほとんど奉仕ができない可能性がありました。神が多才なメンバーを神学院においてくださっていたおかげで奉仕を全うすることができました。また、礼拝や伝道の新たな可能性を、教団諸教会の皆さんと共有することができたのではないのでしょうか。

このような状況の中で、今の神学生メンバーが神学院に与え



船津悠大

られていることに、神の導きを感じています。もし神学院に、ネットに明るい創造的なメンバーがいなければ、教団の状況も今と異なっていたのではないのでしょうか。神学生は様々な教会と交わらせていただく機会が与えられています。各教会の多くの葛藤を目の当たりにします。今の教会運営に手いっぱい、新しく何かを始めたり、将来を見据えて準備していくことに困難を覚えている教会が多くあります。そういう中で、比較的自由に発想し動ける神学生の重要性を感じました。今回もそうでしたが、

神学生がネットでの奉仕を始め、各教会で奉仕させていただくだけでなく、そこで得た知識や技術を教団諸教会に共有していく。教団全教会に行き届けてはいませんが、そのように教団のための祝福として用いられたことに感謝です。

これもすべて、神のおかげであり、皆さんが祈り支えてくださっているおかげであります。その実として、この夏の奉仕があったと思います。これからも祈りとお支えをよろしくお願いいたします。

#### 夏期派遣報告

4年 岡 聖志

いつも神学生のためにお祈りとお支えをいただきありがとうございます。今年の夏は、今までとは違う形にはなりましたが、皆様からたくさんさんの恵みをいただきました。

去年に引き続き、オンラインでの奉仕が中心となりました。普段であれば全国各地の教会を回っ



岡 聖志

から参加できる、というのがオンラインの大きな特徴だと思えます。直にふれあうことを大切にしつつ、新しい技術をも積極的に活用しながら福音をこれからも伝えていけたらと思われました。

また、神学生全員で奉仕できたことも感謝でした。今までの夏期派遣では2、3人で行動することが多く、神学生全員で奉仕する、ということがほとんどありませんでした。しかし今回オンラインという形となったことで、神学生全員で一つの奉仕をする機会が多く与えられました。さまざまに素晴らしいところを持つている神学生たちと、それぞれの賜物を活かしながらともに奉仕できたことがとても感謝でした。

この夏の奉仕のときは、自分自身に向き合われる時ともなりました。自分の弱さと罪を多く示されました。しかし神様の憐れみによって、奉仕を全うさせていただいたことを感謝します。神様を見上げて、神学生最後の半年も歩ませていただきたいと思います。

御言葉に仕える者として

3年 黒木真菜

昨年は1回のみの説教の御用がこの夏10回以上与えられ、御言葉語るために召されているという実感が強められました。1回1回の備えの中で、御言葉を語るとはどういうことか、説教とは何か、ということを変更して考えさせられました。

説教の御用をさせていただいたのは浅草橋教会祈禱会と日曜学校、早天祈禱会、山形南部教会と遠州キリスト教会の祈禱会、



黒木真菜

て奉仕し、教会の方々と直に交わる機会を持つので、それができないのは大変残念なことではありましたが、しかしそのような中にもあっても、場所に関係なく一瞬のうちには全国の教会とつながることができ、オンラインだからこそできることもまたあるのだということを感じました。特に神学院の自主企画では、ノンクリスチャンの方や、直接面識のない方なども見てくださいました。全国の人が場所を超えて、それぞれの場所

ユーチューブ伝道会、玉川キリスト中央教会礼拝と母教会の都農教会礼拝においてです。説教スタイルは様々で、直接対面方式、オンラインで画面越しの説教、録画したものを使っていたり、方法ユーチューブで不特定多数の人に向けてライブ配信する方法などがありました。工夫次第で御言葉をお届けることができ、可能性を実感すると同時に、それぞれの特性を掴んで上手く対応しなければ、伝わるものも伝わらないと学びました。

説教準備は大変恵まれる時間です。御言葉の前にへりくだり、神様の御心を求めて祈る度に、自分自身が癒され励まされる恵みをお伝えしたい、と思わされるのですが、伝え方において未熟さを実感しました。生涯の課題であるとは思いますが、霊の糧を求めて来られる方や、まだ主イエスとお会いしていない方に主の御心が伝わる説教ができるよう励む必要を示されました。

えられたことは、御言葉を語るのは説教の時間だけでなく、その後の振る舞い、ものの扱い方なども無言のメッセージとなつていくということです。そのようなことで御言葉に傷をつけることのないよう、普段の生活から改める必要があると思えました。学生として残りの期間、御言葉に仕える者として成長できるようにお祈りいただけますと感謝です。

### 2021年夏の感謝報告

2年 松本麻椰

#### ・八潮キリスト教会 オープンチャーチ

この夏はいろいろな形で奉仕をさせていただき、奉仕をする喜びにあふれた夏の派遣期間となりました。8月5〜7日、八潮キリスト教会で未就学児く青年のために教会を解放する「オープンチャーチ」があり、ユースと賛美練習をしました。今年の5月から、楽器演奏に興味があるユースと月に2回・昼の1時間で賛美練習を行っており、そのメンバーに



松本麻椰

4年生のお二人が加わり楽器の基礎をしてから、次々と新しいワッシュアップソングに挑戦しました。ベース・ドラムなどの楽器をブラッシュアップし、賛美を仲間と一緒に演奏する楽しさを味わいました。他所への派遣を終えて9月に八潮に戻ると、オープンチャーチに参加した中高生がSSで賛美奉仕を行っており、成長に感謝しました。今は霊的成長のため祈っており、深い賛美の喜びを

共有したいと願っています。

#### ・神学生のワッシュアップ & バイブルナイト

ユーチューブで賛美・証・メッセージの1時間ほどの集いを2回行い、教会の方々にもクリスチャンでない友達や家族にも紹介して見てもらいました。近くに一緒にいない故、集会後のレスポンスをもらったりフォロアアップが難しいという課題もありました。御言葉とその意味・わたしたちクリスチャンの思いを発信することができ感謝でした。

#### ・福岡エルシオン教会

8月15日に、ズームでつながり、福岡エルシオン教会の方々と神学生5人と共に礼拝をささげました。初めて礼拝での説教をさせていただき緊張しました。御言葉の恵みを分かち合うことのできる、主にある兄弟姉妹の存在に感謝でした。

#### ・山形南部教会

母教会である南部教会には、ズームで2回の礼拝と祈祷会で、



細井一広

賛美や証やメッセージをさせていただきました。メッセージを聞いて自分の罪を悔い改めて気持ち穏やかになった、というコメントを下された方もいて、ささやかな奉仕を主が用いてくださることに感謝しました。

### 初めての夏期派遣

1年 細井一広

いつもお祈りに覚えていただき、ありがとうございます。この夏、初めての夏期派遣にて奉仕いたしました。様々な経験が与え

られ、大変感謝でした。

最初に、通常の派遣奉仕となった玉川キリスト中央教会、浅草橋教会、東戸塚エルシオン教会、さらにオンライン奉仕となった山形南部教会、福岡エルシオン教会で、証やCSメッセージ等を担当いたしました。また、浅草橋教会の早天祈祷会では、学生が交代で説教を行い、私もCS以外では初めてみことばを語る時が与えられました。

何回か証やメッセージを語る中で教えられたことは、いずれも神様が語ろうとしておられることや神様が与えられた恵みを、神様に代わって語らせていただいているということでした。無意識のうちに自分の栄光を求めてしまう私に、神の恵みの配達人に徹しなさい、とその姿勢を正されたように感じました。

次に神学生の自主企画として、中高生カンファレンス、2回の伝道会、毎朝のワーシップに取り組みました。特に中高生カンファレンスは、ユース世代でもなく、子どももおらず、中高生との関わりが少ない私にとって、馴染みが薄

いものでした。しかし、予想を超えるたくさんの方が与えられ、皆が恵まれていた様子に、祈りに答えられる神様が今まさに働いておられるのだと、深い感謝と感動を覚えました。

また、関東夏期聖会の賛美を始め、いくつか神学生全員で奉仕する機会が与えられました。5人それぞれが役割を果たし、共同体として主に仕えることの大切さを学んだように思います。「あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。」(コリント12・27)のとおりです。

この夏の奉仕を祝して下さった神様を讃えつつ、お世話になった先生方や信徒の方々お一人一人に、改めて感謝いたします。

### ◆夏期神学生企画の報告◆

3年 黒木真菜

夏期派遣期間に入る前の6月、神学生で夏の伝道のアイデアを出し合いました。様々な意見が出た中で、YouTube伝道会、中



ユーチューブ伝道会

高生カンファレンス、1ヶ月連続毎朝賛美の3つに取り組みむことを決め、実行することができました。

ユーチューブ伝道会は表向きには「ワーシップ&バイブルナイト」というタイトルで、路傍伝道のオンライン版として行いました。2回実施し、賛美とメッセージと証を、1回目と2回目役割を変えて行いました。多くの人に

見てもらうため、できるだけ短く分かりやすく、と意識しましたが容易ではありませんでした。しかしこの経験から、いかにしてノンクリスチャンに伝わるか、という視点が与えられました。

中高生カンファレンスは、実は中高生が生き生きと参加できる聖会・集会が少ないのでは、という気付きに始まり、オンラインの特性を活かして中高生が全国の信仰の友と出会うきっかけになればと思い企画しました。始めなかなか申し込みがありませんでしたが、協力者として準備段階から関わってくれた大学生たちにも毎朝祈禱課題を分かち合い、祈り備える中で、最終的に小学6年と中高生の合計22名が与えられました。これからの日本の教会を支えていく青年たちの信仰を、少しでも励ましていけたらと願います。

1ヶ月間毎朝賛美する企画は、視聴する方が少しでも朝に賛美をして、霊的に元気になっていただけたらとの祈りを込めて行いました。一度に全曲収録し、それを1曲ずつ毎朝ユーチューブに

あげていきました。毎日コメントをくださる方、お会いした際に感想をお話くださる方などから逆に励まされました。

課題も残りましたが、まずは今回新しいことを始める力を与えてくださった主に感謝し、ただ主のご栄光が表されることを切に祈ります。



Worship & Bible night  
② QRコード



Worship & Bible night  
① QRコード



中高生カンファレンス  
QRコード



◆退修会報告◆

神学院講師 湯澤宣道



度退修会が「駒ヶ

9月7日  
(火)～9日  
(木)の日程  
で2021年

根バノラマ愛の家」において持たれました。

今回は「御霊に属する人、肉に属する人」(丸屋貞也著)をテキストとした学び、夏期の奉仕の感謝報告を中心に、研修と交わりの時間を過ごしました。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、会場での対面参加とZoom参加の併用での開催でしたが、大きな支障もなく充実した3日間でした。参加者は学院生5名全員と山崎学院長はじめワクチン接種2回終了の教師5名が現地参加、それ以外の教師8名がZoomによる参加、都合13名でした。

プログラムは4回のテキストによる学びを中心に、1日目夜の発題「体験から学んだ霊的教訓」

(教師3名)、二日目夜の学院生と教師によるQ&Aコーナー「聖書、神学、信仰、伝道」、そして二日目午前のリフレッシュタイム(西駒ヶ岳・千畳敷カール見学)、二回の早天祈禱会、閉会聖会という内容でした。

学びは各章から担当教師による講義を聴き、学生のレスポンス、質疑応答によつて進められました。キリスト者の肉と霊に関する明快な著者の解き明かしを中心に学びを深めました。

夏期奉仕感謝報告の時では、学生それぞれからオンラインを中心とした諸教会での奉仕、自主企画によるオンライン伝道会(2回)、中高生カンファレンスの報告がなされ感謝を分かち合いました。

学びの時のほか、発題の時、質疑応答の時を通じ、学生、教師を問わず、真摯な意見交換がなされ、啓発の時となりました。また、早天や聖会では豊かな霊の恵みにあずかりました。

3日間、自然豊かな環境、美味しい食事にも恵まれ、心身癒されて後期への良き備えの時となりました。

## ◆編集後記◆

神学院のためにお祈りとお支えを心から感謝します。7月の関東夏期聖会から始まった夏期伝道期間も祝され、学生たちは、貴重な訓練の場が与えられ、それぞれが霊的に成長する日々を送ることができました。特に今年は新しい企画をもってZOOM中高生カンファレンス、オンライン伝道会、オンライン朝の賛美を神学生がYoutubeチャンネルで配信しました。全国の中高生との交わり、神学生が伝える伝道メッセージ、そして朝の賛美、素晴らしい恵みが届けられ、今でも神学生 Youtube チャンネルを通してその恵みにあずかることができます (Youtube チャンネル: ウェスレアン・ホーリネス神学院)。神様のために自分たちができることを探し、知恵を求め、そして共に行う神学生たちの姿勢に本当に感動を受ける夏でした。後期も学生たちに主に励ましと慰め、そして力が豊

かに注がれ、ますます主の御姿へと成長することができまますようにお祈りをどうぞよろしくお願いします。神学院便り第76号では、神学院教授の桑原信子先生の巻頭言と湯澤宣道先生の退修会の報告、在校生による夏期伝道の恵みの報告、神学生新企画集、そして、献金者一覧を掲載させていただきます。

現在、夏期伝道、退修会を経て、後期の授業が始まっております。4年生はいよいよ、卒論の一時提出を終え、仕上げに取り組みながら、教師試験へと備えてまいります。そして11月の第一回神学院入試が控えております。一人でも多くの入学生が与えられるように、また在校生それぞれの霊性、健康が守られ、後期の学びが祝されますように、また指導する教師の健康、事務スタッフの健康が支えられますようにお祈りください。

## ウェスレアン・ホーリネス神学院入試要綱



## \*受験資格\*

- 大学・短大卒業もしくはそれと同等の学力を有すると認められた者
- プロテスタント教会に所属し、受洗後2年以上の者
- 専心宣教牧会の業に仕える明確な召命感を持ち、このために献身し、牧師の推薦を受けている者

## \*受験手続き\*

以下の書類を整え、本学院事務所に郵送または持参してください。なお神学院所定の用紙はホームページからも印刷できます。(①～⑤は学院所定)

- ①入学願書 ②履歴書 ③信仰歴 ④所属教会牧師の推薦状 ⑤召命に関する短文 (400字×3枚程度)
- ⑥最終学校卒業証明書 ⑦同成績証明書 ⑧健康診断書

## \*入学試験日\*

- 第1回 2021年11月16日(火) 試験科目: 聖書、英語、ホーリネス
- 第2回 2022年2月15日(火) 試験科目: 聖書、英語、ホーリネス
- 第3回 2022年3月8日(火) 試験科目: 聖書、英語、ホーリネス

●願書提出締切は試験日の2週間前までに提出して下さい。

●受験料2万円 願書と一緒に支払い下さい。

入学金: 50,000円/授業料: 年額 230,000円/寮費: 月額 5,000円/食費: 月額 15,000円

●上記の外に研修費・教材費があります。※寮費・食費はその時の事情で変動することがあります。

## ウェスレアン・ホーリネス神学院

連絡先: 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-22-3 Tel 03 (3851) 3762

詳しくはホームページをご覧ください <https://whseminary.jimdo.com/>